

がじゅくまんとGraduation Policy(GP)との相互依存関係一覽表

設立名称	2006年4月1日
法人番号	00000000000000000000
所在地	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
学則・教育方針	学校教育委員会設置規程
代表者	学校長(代表者) 校長(代表者)

前期学習の教育目的(具体的記述-授業書き)		学校教育委員設置規程の教育目的(具体的記述-授業書き)		教科教育コース-英語教育選修の教育目的											
学校教育および社会のさまざまな分野における者の成長をもつて貢献できる人材の育成を目的とする。		本学として教育および福祉に関する事業を推進するもことを基礎として、児童・生徒の生活指導から教科指導・進路指導まで幅広い能力を持った人材を養成する。		以下のような能力や資質を備えたい人材を養成する。 1. 基礎的・応用的知識の獲得や理解の深め 2. 英語教育・英語学・英会話・英作文・英文化理解に関する基本的知識の獲得や理解の深め 3. 次代の子どもを育てるための視野や知見の獲得 4. 外国語としての英語の教授・学習に関する理解の深めとそれと連関した実践的指導能力											
学校教育委員設置規程教科教育コース-英語教育選修のがじゅくまんと		学校教育委員設置規程のGraduation Policy(GP) (GP-達成のために、特に重要な事項、O=GP達成のための重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)		教科教育コース-英語教育選修のGraduation Policy(GP) (GP-達成のために、特に重要な事項、O=GP達成のための重要な事項、△=GP達成のために、望ましい事項)											
授業科目名	授業科目の目的(「授業書き」に「この授業科目における」となる題名・題意・テーマ等を授業書きに記入する。)	授業科目の到達目標(「授業書き」の「到達目標」欄に「この授業科目の(行動)目標を学生が主体的に行動動用して授業書きに記入する。)	1. 教育理解力・批判的思考力、教育の理念や制度、教職の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。	2. 教育方法・技術力、指導力、教育の理念や制度、教職の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。	3. 生活指導力、進路指導力、職業教育の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。	4. 教育実践力、教育理解力、批判的思考力、教育の理念や制度、教職の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。	英語を使ったコミュニケーション能力がある。	1. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。	2. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。	3. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。	4. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。	5. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。	6. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。	7. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。	8. 英語-一般および英語-専門について、知識や理解をもち、それらを活用して実践的指導を行うことができる。
学習基礎科目															
総合学習		1. 人間に共通する諸事や日本社会に特有な諸事について学ぶ。 2. 上記の課題を分析・検討し、自分の意見や考えを表現し、他者と協働して課題を解決することができる。		1. ① 2. ② 3. ③		3. ③								1. ① 2. ② 3. ③	
道徳に関する科目(小・中)															
道徳		1. 道徳の意義や重要性について理解し、説明することができる。 2. 道徳の意義や重要性を踏まえて、自分の意見や考えを表現し、他者と協働して課題を解決することができる。		1. ① 2. ② 3. ③		1. △ 2. △ 3. △		1. △ 2. △ 3. △							
教育		1. 教育の意義や重要性について理解し、説明することができる。 2. 教育の意義や重要性を踏まえて、自分の意見や考えを表現し、他者と協働して課題を解決することができる。		1. ① 2. ② 3. ③											
教育哲学		1. 教育哲学の学問的性質 2. シュプラナーの生涯と教育哲学 3. シュプラナーの教育哲学とシュプラナーの教育		1. ① 2. ② 3. ③											
教育史		1. 日本の教育の歴史・思想的背景 2. 日本の教育の歴史的背景		1. ① 2. ② 3. ③											
発達心理学		1. 人間の発達の特徴・要因について理解し、説明することができる。 2. 発達心理学の各領域について理解し、説明することができる。 3. 発達心理学の各領域について理解し、説明することができる。		1. ① 2. ② 3. ③											
教育心理学		1. 学校における教育活動において子どもをどのように育てるべきかを理解し、説明することができる。 2. 教育心理学の各領域について理解し、説明することができる。 3. 教育心理学の各領域について理解し、説明することができる。		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③							
教育社会学		本講義では、学校教育における子どもや教職員の生活(「社会性」)について理解し、説明することができる。また、教育社会学の基礎を学ぶ。		1. ① 2. ② 3. ③											
教育制度		1. 学校教育には様々な「制度」(「仕組み」)が存在している。それらについて、テキスト、ビデオ、教材資料を参考に理解し、説明することができる。		1. ① 2. ②		1. ① 2. ②		1. ① 2. ②							
教育法規		1. 教育法規を目的とする教育法規、現行教育法規の意義を説明することができる。		1. ① 2. ②		1. ① 2. ②		1. ① 2. ②							
社会教育		1. 生涯学習の観点から社会教育を説明することができる。 2. 社会教育の各分野の基本的な事項と課題について説明することができる。		1. ① 2. ②		1. ① 2. ②		1. ① 2. ②							
国際理解教育		1. 国際理解および国際理解教育の意義、基本理念、範囲について理解し、説明することができる。 2. 自己自身の教育実践における国際理解教育の意義や重要性について理解し、説明することができる。 3. 国際理解教育と国際理解教育の関連性を踏まえて、自分の意見や考えを表現し、他者と協働して課題を解決することができる。		1. ① 2. ② 3. ③		2. ② 3. ③		2. ② 3. ③							
教育方法論		1. 授業の基本原則 2. 主体的な学びの成立と指導 3. 教育実践の意義		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③							
教育メソッド(実践的指導力養成)		教師-学習過程(授業)において、「おかしな」授業を求め、その授業を改善し、効果について学ぶ。さらに「おかしな」授業を求め、その授業を改善し、効果について学ぶ。さらに「おかしな」授業を求め、その授業を改善し、効果について学ぶ。		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③							
言語教育		1. 言語の意義や重要性について理解し、説明することができる。 2. 言語の意義や重要性を踏まえて、自分の意見や考えを表現し、他者と協働して課題を解決することができる。		1. ① 2. ②		3. ③		3. ③							
特別活動		1. 特別活動の目的と内容 2. 特別活動の指導計画 3. 特別活動の指導計画		2. ① 3. ②		2. ① 3. ②		2. ① 3. ②		2. △ 3. △		2. △ 3. △			
生徒指導		1. 生徒指導の意義と目的 2. 生徒指導の内容と方法 3. 生徒指導計画		2. ① 3. ②		2. ① 3. ②		2. ① 3. ②		2. △ 3. △		2. △ 3. △			
教育相談-進路指導		1. 生徒指導と教育相談の違いについて説明することができる。 2. 学校における不登校、いじめ、非行などさまざまな問題に対する基本的な対応について説明することができる。 3. 臨床心理学のさまざまな技法について説明することができる。		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③		1. ① 2. ② 3. ③							
教育実習指導		1. 教育実習前と後に行う指導を通して、高等学校での教育実習の目的の達成を支援することができる。 2. 教育実習に求められる必要不可欠な基本的・基礎的知識を身に付ける。 3. 教育実習の意義、意義、指導方法についての理解を深める。 4. 教育実習で得られた経験から教育実践における問題の発見、問題の解決、授業観、子ども観との対比から教育や授業に対する理解を深める。		3. ① 7. ①		4. ① 8. ①		1. ① 2. ② 3. ③ 4. ④ 5. ⑤ 6. ⑥ 7. ⑦ 8. ⑧							
道徳に関する科目(小)															
教科教育実践		小学校の道徳科教科書における文芸教材の学習指導のあり方について理解し、説明することができる。今日の文芸教材が担うべき課題や問題点を検討してゆく。		1. ① 2. ② 3. ③ 4. ④ 5. ⑤											
教科教育実践		1. 小学校社会科の教材研究と教材作成 2. 小学校社会科の授業構成		1. ① 2. ②											
教科教育実践		1. 小学校社会科の教材研究と教材作成 2. 小学校社会科の授業構成		1. ① 2. ②											

